

公 表 日

平成23年 9月 7日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成23年度 雲仙普賢岳溶岩ドーム観測手法精度向上検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 雲仙復興事務所長 田村 圭司 長崎県島原市南下川尻町7-4
契約年月日	平成23年 9月 7日
契約業者名	日本工営(株)
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12 R&Fセンタービル
契約金額	29,190,000円(税込み)
予定価格	29,221,500円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	長崎県島原市
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成23年 9月 8日
履行期間(至)	平成24年 3月 2日
備考	

公表日

平成23年 9月 7日

様式6-1

契約の内容

契約年月日	平成23年 9月 7日
契約業者名	日本工営(株) 福岡支店
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12 R&Fセンタービル
業務の名称	平成23年度 雲仙普賢岳溶岩ドーム観測手法精度向上検討業務
納入場所	長崎県島原市
業務種別	土木関係建設コンサルタント業務
業務概要	<p>平成の雲仙普賢岳噴火活動に伴い、雲仙普賢岳山頂には溶岩ドームと呼ばれる不安定な岩塊群が堆積しているため、雲仙復興事務所は反射プリズムによる光波観測等の監視を実施した結果、溶岩ドームの継続的な変形を確認し、溶岩ドームは崩落や崩壊等の危険性がある。</p> <p>本業務は、今後溶岩ドームに接近して実施される砂防工事の工事従事者などの安全を向上するため、現状の溶岩ドーム観測手法の精度向上の検討を目的とする。</p>
納期(自)	平成23年 9月 8日
納期(至)	平成24年 3月 2日
契約金額	29,190,000円(税込み)

契約理由書

1. 業務件名 平成23年度 雲仙普賢岳溶岩ドーム観測手法精度向上検討業務
2. 履行場所 長崎県島原市
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12 R&F センタービル5F
会社名：日本工営株式会社 福岡支店
電話：092-475-7131
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1). 当該業務の目的

平成の雲仙普賢岳噴火活動に伴い、雲仙普賢岳山頂には溶岩ドームと呼ばれる不安定な岩塊群が堆積しているため、雲仙復興事務所は反射プリズムによる光波観測等の監視を実施した結果、溶岩ドームの継続的な変形を確認し、溶岩ドームは崩落や崩壊等の危険性がある。本業務は、今後溶岩ドームに接近して実施される砂防工事の工事従事者などの安全を向上するため、現状の溶岩ドーム観測手法の精度向上の検討を目的とする。

2) 業務の内容

主な業務内容は下記のとおりである。

- (1) 計画準備
- (2) 資料収集整理
- (3) 観測手法の提案
- (4) 提案した観測手法による溶岩ドームの不安定領域の把握
- (5) 既存の光波計測データ整理と気象の影響を補正する方法の検討
- (6) 溶岩ドーム亀裂の進行性の把握（定期観測・精度確認）
- (7) 総合解析
- (8) 報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低47者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、上記業者は、本業務を遂行するために必要な技術力を備えていると判断され、かつ、特定テーマに対する技術提案において、最も優れた提案を行ったものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

雲仙復興事務所 調査・品質確保課長